

新人紹介

新任のごあいさつ

水産研究部 吉岡孝治

私と当センターの出会いは今から9年前のことになります。

当時大学4年生の私は卒業論文の研究テーマとして、広島県水産試験場（現在の水産海洋技術センター）と共同でメバルの放流に関する研究に取り組むこととなり、指導教官の先生に連れられて水産試験場に挨拶に訪れました。

その時の印象は、現在の庁舎に建て替えられる前であったため老朽化が進んでおり、正直「こんな所には勤めたくないなあ」と思ったことを今でも覚えています。

また、その時はこの古ぼけた建物がすばらしい施設へと生まれ変わり、そして将来自分がそこに勤めることになるとは夢にも思いませんでした。

それが今現在こうして研究員として配属され、学生時代からの「腐れ縁」のような運命的なものも感じています。

現在、私の主な業務は、地付き魚蓄養輸送チームの一員として、魚類の飼育に関する技術開発に従事することです。この研究は種苗生産や蓄養といった現場に直結するもので、水産資源の減少や魚価の低迷といった、本県の水産業が抱える問題を解決する上で大変重要な研究であり、大きなやりがいを感じています。

広島県に採用されてから6年間、漁業調整や漁業取締りといった研究とかけ離れた業務に従事してきましたので、当センターへの異動を告げられたときは正直とまどいでしたが、毎日が勉強であり修行だと思い、日々研鑽を積んでいきたいと思っています。どうぞご指導、ご鞭撻の程よろしく願います。



はじめまして

技術支援部 池田好伸

農業技術センターから参りました、池田と申します。農業関係の試験研究や研究成果の広報に30年ばかり携わってきました。

これまで、主に従事してきたのは野菜や花分野でのバイオテクノロジーの利用技術の開発です。全国的にバイオテクの実用化研究が始められた時期にもあたり、ワケギやコンニャク無病苗の育成、種苗の大量増殖や植物に感染するウイルスの検出法の開発など、生産現場で使える技術を目指して研究をしていました。

こちらでは、技術支援部で水技センターの成果をたくさんの方に使っていただけるような情報提供や、研究部の業務がスムーズに進むように各種の情報収集や調整を担当しています。

これまでと違う分野で、とまどうことも多いのですが、どうぞよろしく願います。



職員の異動

（4月1日付）

本年度は、5名の方々が転出され、5名の方が赴任されました。

転出

次 長 御崎 晃 監査委員事務局
担 当 部 長 米司 隆 退職
副 部 長 飯田 悦左 総合技術研究所企画部
副主任研究員 横内 昭一 農水産振興部水産課
専 門 員 友田 雅実 政策企画部統計課

転入

次 長 野間 秀昭 自治総合研修センターから
主任研究員 池田 好伸 農業技術センターから
副主任研究員 永井 崇裕 食品工業技術センターから
主任主事 道面 勝 農水産振興部農業経営課から
研 究 員 吉岡 孝治 農水産振興部水産課から